

「股関節疾患の臨床画像評価および患者満足度調査による 最適な治療体系の確立」に対するご協力をお願い

研究代表（責任）者 大矢 昭仁
研究機関名 慶應義塾大学医学部
（所属） 整形外科教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、本文書により患者さんへ向けて情報を公開し研究参加を拒否する機会を提供しています。なおこの研究を実施することによる、患者さんへのリスクや新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「9 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

整形外科にて股関節疾患（変形性股関節症、発育性股関節形成不全、股関節唇損傷、大腿骨頭壊死、ペルテス病、大腿骨頭すべり症、リウマチ性股関節症、化膿性股関節炎、大腿骨骨折、骨盤骨折など）と診断された患者のうち、本研究参加を拒否しなかった方。

2 研究課題名

承認番号 20231011

研究課題名 股関節疾患の臨床画像評価および患者満足度調査による最適な治療体系の確立

3 研究組織

研究代表機関

研究代表者

慶應義塾大学医学部整形外科 （職位）専任講師（氏名）大矢昭仁
教室

4 本研究の目的、方法

高齢化を迎えたわが国で健康寿命の延伸は不可欠です。股関節疾患の多くは、患者さんの生活の質を低下させ、ときに寝たきりの原因になることがあります。また、たとえ短期的には治療がうまくいっても、関節軟骨の変性や摩耗によって関節の変形が生じてしまうこともあります。社会的にもこれら股関節疾患の治療は重要な課題となっています。

股関節疾患の治療方針をたてるにあたり、年齢、性別、疾患の程度やもともとの原因になった疾患だけでなく、職業や趣味といった患者様の生活に関連すること、あるいは脊椎や膝などの近接関節の状態、現在服用している薬剤や骨粗鬆症の程度など多くの因子を考慮して医師と患者さんが相談しながら決めていく必要があります。そこで今回は慶應大学病院で股関節疾患の診療をしている患者様に対しまして、通常行っている診察、単純 X 線、CT や MRI などの画像検査、血液検査、痛み、歩行状態、可動域などを点数化した各種臨床スコアを収集、解析することで、患者満足度が高い治療体系を確立することを目的としています。

5 協力をお願いする内容

対象となる患者様の診療録や画像検査所見などの情報を解析、評価し治療の妥当性を検討します。従いまして、皆様に新たなご協力をお願いすることはありません。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日（通知書発行日） より 2028 年 3 月 31 日まで

7 外部への試料・情報の提供

実施しません

8 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報すべてを削除し、第 3 者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 2) 個人情報の取り扱いには細心の注意を払いますが、個人情報の漏洩やプライバシーを侵害する可能性を含みます。

9 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

住所:〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地

電話:03-5363-3812(医局直通)

担当者:慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 大矢昭仁

以上